

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある
地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。
このコーナーでは、市が取り組む
「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。
市民協働課 ☎82・2130/IP ☎88・9085

植えでは栽培方法のポイントが紹介され、参加者は思い思いの植物を選んでいました。アロマスプレー講座では、ラベンダーやローズマリーなど身近な精油の効能を学び、好みの香りをブレンドしたスプレーが完成しました。作業の合間にはお茶も振る舞われ、参加者同士の交流も深まりました。

おおうだ南部地域まち協では、2月21日(土)、23日(月・祝)に伝統行事「かき餅作り」を実施しました。洗米から浸けこみ、つき、寝かし、切りまで4日間におよびますが、今回は、二日目の「かき餅つき」と四日目の「かき餅切り」を行いました。参加者は、手慣れた様子で、もちを切り、ひもで編み、和気あいあいと作業を進めました。近年は、「かき餅切り器」



▲うまくレイアウトできました

を導入したことにより、かつて包丁で行っていた作業が効率化され、より安全でスムーズな作業が実現しました。最後には吊り終えたかき餅の短冊を前に記念撮影を行い、地域のつながりを再確認するひとときとなりました。

それぞれのまち協の取り組みは、地域の温かさ人と人とのつながりを感じられる催しとなりました。

2 地域の歴史を学ぶ

～内牧地域まち協～

2月28日(土)、当まち協では、歴史講座「伊勢本街道と宇陀松山藩」を開催しました。

会場には、内牧地域以外からの歴史ファンも含め約80人の方にお集りいただきました。



▲参勤交代を詳しく説明している様子

講師を務めていただいた曾爾村教育委員会教育長の山本雅則さんより、当時の記録を基にした講演を行っていただきました。

宇陀松山藩の参勤交代に焦点を当てつつ、人々の暮らしや背景を詳しく解説。参加者は身近な地域に潜む歴史に改めて興味を持つとともに、昔の奮闘や文化に思いをはせる時間を楽しまれました。特に宇陀松山藩は、初代当主が織田信長の次男・織田信雄であったことから、歴史好きな参加者にとっても非常に魅力的な内容となりました。

講演会終了後、参加者からは「この地域にこんなに深い歴史があるとは知らなかった」「大変有意義な時間だった」という感想が多数寄せられ、次回の開催を期待する声までいただきました。

地域の歴史を知ること、その土地への愛情や誇りを育む素晴らしい機会です。歴史に触れることで、参加した方々は新たな発見をしたことと思います。



▲パネル展示も参考になりました

1 地域のつながりを育む「健康推進講座」と「かき餅作り」

～上龍門地域まち協～
おおうだ南部地域まち協

2月22日(日)、上龍門地域まち協では、「健康推進講座」を開催しました。「人と会い、話し、笑うことが健康づくりの基本」とのあいさつがあり、会場は温かな雰囲気になりました。今回は、多肉植物の寄せ植えとアロマスプレー作りの二本立てで実施。寄せ



楽しい協働作業！
き餅切り」を行いました。参加者は、手慣れた様子で、もちを切り、ひもで編み、和気あいあいと作業を進めました。近年は、「かき餅切り器」

3 イベント企画回で出店

～榛原地区まち協／東榛原まち協／大王地区まち協／伊那佐地区まち協～

2月10日(火)、榛原恵比寿神社前の榛原きずな広場において、榛原きずな広場実行委員会の主催により開催されたイベントに各まち協が出店しました。

この日は、榛原初えびすの開催日で、榛原地域では昔から最も寒さが厳しいといわれている日でしたが、幸いにも穏やかな天気恵まれました。



各まち協は、当てるもの、ポップコーン、おでん、豚汁、焼き芋とそれぞれの得意分野を活かしながらの出店。猿回しが始まる夕方には沢山の人が会場が埋まり、大いに賑わっていました。

普段、各まち協はそれぞれの地域で活動していますが、このような機会をいかにして、お互いの情報交換等を行い、今後の活動の参考とする有意義な時間となりました。



▲東榛原まち協



▲大王地区まち協



▲伊那佐地区まち協



▲榛原地区まち協

田口地区まち協からのお知らせ

室生漁業組合あまご解禁

- ▶解禁日 4月12日(日)夜明け
- ▶放流場所 宇野川橋～黒岩口
- ▶遊漁券発売所 オートキャンプ場事務所
事前に連絡願います
- 松井方 ☎090・7697・0678
- 北脇方 ☎090・1588・6333



モモ(桃)

桃の花も咲き始めました。きれいな花なので、生け花にする人もいるでしょう。採集した桃の花弁を、十分乾燥してコーヒーマルやすり鉢などで粉末にし、同量の小麦粉と少量の水を混ぜて練りまします。皮膚に塗って乾燥後に洗い落とせば、染み、そばかす、にきびなどをなくすことができます。効果のある方法なので試してみてください。

桃の花の効果はこれだけではありません。桃の花粉を1〜2g服用すると、強い下剤となつとも、強い利尿剤にもなります。花粉やつぼみを、砂糖漬け

や塩漬けにしておき、食事のときにいただくとお秘も解消します。また、桃の花を酒に入れて花酒を作るか、花弁をご飯と麴に混ぜて甘酒を作ると、効果のよい美味しい飲料になります。

桃の花弁は、古くなると効果がなくなり、毎年新しい花弁を集める必要があります。

一方、花粉の強烈な効果とは対照的に、桃の葉は体に優しい消炎剤となります。湿疹、おむつかぶれ、肌荒れ、あせもなどにも葉を煎じた液で洗うか湿布すると効果があります。



薬草逍遙(やくそうしやうしょうよう) 毎回「薬草」に関する内容を連載でお届けするコラムです。

※当市で「薬草活用講演会」をさせていただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075